

正 則
学 園

紫紺会通信

発行 正則学園高等学校同窓会

<https://www.seisokugakuen.ac.jp>

〒101-8456 東京都千代田区神田錦町3丁目1番地 電話03(3295)3011

「新校長先生が就任なさり 益々活気のある母校へ変革中です」

拝啓 今年には異常高温と異常気象に悩まされた夏季の日々でしたが、同窓生の皆様お変わりなくお過ごしでしょうか？国民が苦しんだ前列のない「新型コロナウイルス感染症」も令和5年5月8日より『5類感染症』に位置付けられ、学園は塩澤理事長先生・校長先生・全教職員様全員のご努力で学園内環境と教育現場を少しずつ変革と復活をして生徒に活気が見られる状況です。

さて、令和5(2023)年4月1日より母校の第10代校長 齊藤 裕先生から、第11代校長 梨本洋三先生が就任なさり、同日に「令和5年度新入生」270名並びにご父兄保護者を迎え本学園7階講堂にて第90回入学式を挙行了いたしました。近年の入学状況を分析致しますと令和3年度／170名・令和4年度／258名・令和5年度／270名と着実に増加の実績を残し、少子高齢化の現代母校は学力向上を力強く目指す校風を外部へ情報発信の結果が、保護者・中学校・学習塾・関係各位等に認知されたと推察しております。同窓会は現状継続と益々の飛躍を目指して頂きたく所望し、今後も母校へ絶大なご支援を改めてお約束させていただきます。

次に、同窓会の近況と今後の活動方針をご報告いたします。この度、継続発行いたしました「紫紺会通信」を絶やさず大きな活動基軸として本学園の情報を収集し同窓生の皆様へ提供させていただきます。因みに本号では「体育祭」が「スポーツフェスティバル」となり、「紫紺祭」が「文化部祭」(令和5年11月4日に本学園で開催)に変更されました。後輩の研究努力成果や新しい発想発表等企画もいろいろです。是非ご来校頂きご見学下さい。

最後に「第9回同窓会総会開催」について
新型コロナウイルス発症に伴い「第8回同窓会総会」(平成30(2018)年10月開催)から休会としておりましたが、ようやく医学的にも認知され異業種総会も開催され始めました。このような状況変化に伴い新型コロナウイルスの様子を確認の上、我が同窓会も次年度(令和6年5月予定)に新たな形式にて「第9回同窓会総会」を開催議決致しました。開催内容につきましては逐次追ってご案内をさせていただきます。当日は会場にて役員一同が同窓生の皆様との再会を楽しみにしてお待ちしております。何卒万障お繰り合わせの上、奮ってご出席参加をお願い申し上げます。

敬具

正則学園高等学校同窓会 第5代会長 松田 幸雄
(第30回生 昭和41年A組卒業)

『 新 学 校 長 ご あ い さ つ 』

正則学園高等学校校長 梨本 洋三

【母校ホームページより引用】



同窓会会員の皆様へ、

私は本年4月1日付けをもって、この素晴らしい正則学園高校の校長に就任し、大変光栄に思っております。

この学園は、明治29年（1896年）に正則英語学校として、第一高等学校（現在の東京大学）教授であり、英語学者であった斎藤秀三郎先生によって創立され、長い歴史と伝統を誇り、多くの優れた卒業生を排出してきました。その成果に感謝し、この学園の将来に向けて、より一層の発展と進化を目指してまいります。

同窓会の皆様にとっても、学園の一部としての誇りを感じていることと思います。卒業生の皆様が学校との絆を維持し、学園の発展に貢献していただけることを期待しております。

学園は生徒たちのために存在し、その教育と成長に責任を持っています。私は、生徒たちが最高の教育を受け、個々の才能を最大限に活かせるよう努力し、学園コミュニティ全体が協力し合って、良い未来を築いていくことを願っています。

最後に、同窓会の皆様に、今後も学園との連携を深め、共に学園の発展に寄与していただけることをお願い申し上げます。皆様の経験と知識は、学園にとって貴重な資源であり、共に力を合わせて素晴らしい未来を築いていきましょう。

皆様と共に正則学園を発展させていくことを楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。

校長 梨本 洋三

令和4年度(19期)決算報告書

正則学園高等学校同窓会

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

収入の部

科 目	金 額	備 考
前期繰越金	4,826,796	
同窓会入会金	1,850,000	・令和4年度卒業生184名 ・S49卒業生1名加入
賛助金	501,000	・紫紺通信6号発行による賛助金
受取利息	38	・金融機関利息(ゆうちょ口座/24、三菱UFJ/14)
雑収入	0	
収入金額	¥7,177,834	

支出の部

入学・卒業記念品代	553,965	・(R4年度)新入生記念品代/225,544 ・(R4年度)卒業記念品代/116,601 ・(R5年度)新入生記念品代/211,820
行事祝い金	20,000	・(R4年度)卒業式/10,000 ・(R5年度)入学式/10,000
部活優秀奨励金	70,000	・カヌー一部世界大会出場祝儀/50,000 ・剣道部関東大会出場祝儀/10,000 ・生け花研究会全国出場祝儀/10,000
同窓会運営費	451,625	・同窓会活動費/22,598 ・紫紺通信発送代/314,903 ・通信費/2,697 ・消耗品費/23,929 ・交通費/61,237 ・振り込料/26,256(賛助金入金手数料含む)
支出合計	¥1,095,590	

次期繰越金	¥6,082,244	内訳明細	本会計・運営費	¥1,562,224
			総会開催準備金	¥1,000,000
			周年記念積立金	¥20,000
			奨学金対策積立金	¥3,500,000

令和5年3月31日

上記の通り、決算報告をいたします。

会 長 松 田 幸 雄

会計幹事 大内 匡 憲

上記決算報告は会計監査の結果、適正に作成されている事を認めます。

会計監査 堀 木 和 久

『 体育科教諭 40年の思い出 』

体育科教諭 鈴木 明博 先生

私は順天堂大学体育学部を1981年に卒業し、他の学校に2年間勤務した後に縁があり、正則学園高等学校に1983年より体育科教諭として勤務し40年が経ちました。

勤務した当初は生徒に何かを教えるより、私自身が覚えなくてはならないことが数多くあった記憶があります。また、日々の授業や部活動の指導では私の気持ちを生徒に思うように伝えることができず「なぜ理解してくれないのか」「どのように説明すればわかってくれるのか」「自分の教え方に問題があるのか」など随分と思ひ悩んだことを思い出します。また、当時は俗に言うアナログ時代で成績処理を始めとして、あらゆる作業が全て手作業で行われ、中でもクラスの点数処理には大変苦勞し電卓を何時間も使う事も多々ありました、それでも計算が合わず商業科(当時は商業科が有りました)のベテランの先生に相談したところ瞬時に違いを指摘して頂き、先輩教諭の頼もしさを実感すると共に自分の無能さを知り情けなくなり涙が出そうになりました。

そのような日々が過ぎた中でも指導をしていた柔道部は着実に力を付け1984年には関東大会に初出場し、その後インターハイ、全国高等学校柔道選手権大会、国民体育大会に出場し素晴らしい成績を収めてくれました。しかし、その道のりは決して平坦なものではなく生徒の心・技・体をバランスよく育成するのは大変難しくその指導法に思ひ悩んだことは数知れません。しかし、こんな私でも生徒はよく付いてきてくれ、真剣に取り組み練習試合や公式戦を共に戦ったことは一生の思い出であり誇りです。

現在、私は2021年よりカヌー部の顧問をしております。当然のことながら私はカヌーのことはまったく知らない管理顧問です。しかしながら、このカヌー部の生徒も私には忘れられない存在となりました。第一に競技力の高さです。競技人口が少ないとはいえインターハイ出場は当たり前であり、尚且つ2022年にはインターハイ・国体で優勝、アジアジュニア選手権・世界ジュニア選手権に出場するなど大変すばらしい成績を収めました。特にインターハイ・国体優勝の場には立ち会わせて頂いた正則学園にも大変感謝しております。次に競技外の生徒たちの生活態度が大変安定している所です。日常の練習は東京都カヌー連盟の方々に指導して頂いているのですが、技術のみではなく選手として人としての大切な部分をしっかりと指導して頂いているようです。

40年も勤務すると、ここに書ききれないぐらいの思い出があります。そして全ての思い出に『感謝』の言葉しかありません。学園・先生方・ご父兄・生徒等のご協力があったからこそ、ここまで教員をやってこられたと思います。 本当に有難うございました。

私は10代で本格的に柔道に取り組み、30代・40代で部活動の指導に持論を持ち邁進しました、50代で高体連役員・審判活動に専念しました。

ここまでの人生を振り返ると、まさに論語の

「十五にして学に志す」 「三十にして立つ」

「四十にして迷わず」 「五十にして天命を知る」 そのものだったと思います。

今後は、

「六十にして耳順う」

「七十にして心を欲する所に従って、矩を踰えず」

の言葉が当てはまるよう生き甲斐を持って余生を過ごしたいものです。

《柔道指導風景》



運動系クラブ／カヌー部



【母校ホームページ&校内ポスターから引用】

「インターハイで優勝して」

令和4年度卒
沼田 蒼太郎

去年のシーズンは、はっきり言って鮮明な記憶というものがありません。それくらい、あっという間の出来事でした。そのようなあいまいな記憶の中でも、1つだけ鮮明に覚えていることがあります。それはインターハイ K1-500m 決勝のレースです。そもそも、私にとってのインターハイは本当に特別な大会でした。私が尊敬している選手たちは皆、そのレースを漕いでいるからです。「自分もこのレースに出てやる」そう心に決めたのは、中学生の頃でした。新型コロナウイルスの影響で、練習環境に制限が掛かってしまっても、私は常に上を向いて、ポジティブな気持ちで練習を重ねていました。そんな私に最初のチャンスが舞い降りたのが高校2年生の時のインターハイでした。この年、私は夢に見ていた決勝の舞台に駒を進めることができたのです。しかし私は、「決勝に出た」という結果に満足してしまい、この年は決勝8位（決勝は9艇で競う）という成績で終わってしまいました。私はこの時「1位を取る気で行かなければ本当に強い選手にはなれない」と痛感しました。そこからの私は、気持ちを入れ替えて優勝するための練習に取り組みました。辛いこともしばしばありましたが、優勝した自分を思い浮かべて、死ぬ気で練習しました。そんなこともあってか、優勝した時は、今までのすべての行いが実を結んだと感じ、感極まってしまいました。それが私の覚えている唯一の記憶です。大げさに感じるかもしれませんが、自分でも不思議なくらい本当に何も覚えていないのです。しかし、この2022年度シーズンが今の、大学での練習の原動力になっていることはまあ間違いありません。このような経験を積ませて頂けた正則学園には感謝の気持ちしかありません。本当にありがとうございました。これからも、目標に向かって全力で頑張りたいと思います。

文化系クラブ／花いけ男子部



【母校ホームページ&校内ポスターから引用】

花いけ男子部は、全国高校生花いけバトル実行委員会による「全国高校生花いけバトル」にも出場しており、全国優勝を目標に日々練習し花とふれあい、様々なイベントにも参加している部活動です。

全国高校生花いけバトルとは

一般社団法人花いけジャパンプロジェクトを中心に開催されている大会で、全国各地の在学中の高校生が5分という時間の中、即興で花をいけていく華道の競技会。日本中の花いけバトルが各地区大会で競い合い、地区ごとの優勝チームが香川県の地に集まります。

地区&全国大会は2人1チーム、全国選抜大会は3人1チーム

「高3メンバー入部してみて経験できたこと、学んだこと」

入部してみて

いざ入ってみた花いけ男子部ですが、最初は全く出来ませんでした。部活を通して仲良くなりコミュニケーションを取りながら協力しましたが、なかなか花をいけたくても量も少なく、枝も立たない。なんでだろうと試行錯誤していくうちに上達することが出来たのは先輩たちの存在でした。2年生3年生含めても6人だった当時は、少人数ならではの仲でとても楽しかったのを覚えています。先輩たちのいける姿勢、バランスの取り方、色の決め方など見てみると「自分なりに出来なくても、真似からはじめてみることは出来るかも」と思い成長することが出来ました。今の自分のいけ方でいけていることが出来るのは、先輩の背中を追ったからだけではなく、顧問の小嶋先生やコーチの小高さんからの協力があり、そして同級生との仲間意識など全員が高めあえるしっかりとした練習環境を作ってもらったおかげだと思っています。後輩たちも一生懸命我々を越えようと思いいてる環境も最高です。毎日刺激がありすぎて、本当に楽しいですし、勉強との両立が当たり前と思っているところも自分たちに驚いていますが、少しは成長したなと思っています。

3 年 太田吏津

私は高校 3 年間を通して今の自分があるのは、花いけ男子部で成長することが出来たからだと思っています。いい意味で部内はアットホームで上下関係があまりないところなどが最大の魅力だと思うので、次の後輩達に繋がるようにこれからも頑張れたらと思います。

いつも応援してくれています先生方や先輩たち、生徒のみなさん、ありがとうございます。

最後に親に感謝です、いつもありがとう。

3 年 飯田理央

私は花いけ男子部に入部して他の部活では経験できないことを沢山経験することができました。その中でも結果を出すために準備する過程で、結果を出ることができる環境の中で自分らしさを忘れずに表現していく力を花いけ男子部で学ぶことができました。花いけ男子部で学んだことを生かして今後の生活を送っていきたいと思います。本当に楽しかったです。

3 年 大石新

部活動を通して、花の綺麗な色合わせや、美しい所作などを先輩方と研究したことで、強い探究心と豊かな想像力を育てることが出来ました。全国大会と全国選抜大会という 2 つの大きな舞台で日本一をかけて競うことができたことは、私の宝物です。一緒に練習をしてくれた先輩方や後輩たちとの時間は、キツイことも多々ありましたが、本当に今思えば大切な貴重な時間だったと思います。本音を言えば、日本一になってみたかったです。が、私自身、3 年間よく頑張ったと思っています。今後もイベントなどでも参加していき、これからも花をいけながら過ごしていきたいです。

功績

2019 年度 関東大会準優勝

2020 年度 関東大会ベスト 4

2021 年度 関東大会優勝

全国大会出場 第 5 位（当時：高 2 松下くん&高 1 大石くん）

第一回全国選抜大会出場 第 3 位

2022 年度 第二回全国選抜大会出場 第 3 位 & MVP（当時：高 3 中林咲くん）受賞

関東大会準優勝

2023 年度 第三回全国選抜大会 第 3 位

関東大会優勝

全国大会出場決定 ※ 2024 年 2 月 4 日香川県民ホールにて開催

（高 2 土方くん&高 2 下川くん）

◎全 国 大 会 →各地区大会の優勝チームのみが出場し、日本一のチームを競う決勝大会
（高校野球で例えると『夏の甲子園』の位置づけ）

場所：香川県 香川県民ホール

◎全国選抜大会 →各地区に出場した全学校の中から優れた 15 校を選抜して

日本一の学校を競う全国大会（高校野球で例えると『春の甲子園』の位置づけ）

場所：岐阜県 ぎふ・ワールドローズガーデン

《トピックス》

◎同窓会役員募集しています

正則学園高等学校同窓会の活動と運営にご理解の有るOBを募集中です。

お気軽にお問い合わせ下さい。

【連絡・問い合わせ先】

同窓会会長 松田幸雄まで

携帯：090-1555-0254 / メール：y.matsuda4401@gmail.com

尚、面談の上、常任幹事会を経て採用となりますのでご了承下さい。

◎同窓会常任幹事会とは…

定例会として、毎月第1土曜日14時から正則学園内で開催しております。

【今後の開催スケジュール】

令和5年10月4日、11月4日、11月11日（臨時）、12月2日

令和6年1月3日、2月3日、3月9日

以上

《正則学園高等学校同窓会定例会風景①》



《正則学園高等学校同窓会定例会風景②》



紫紺会通信No.6（R4年11月）発送準備風景です。

（在校生の鉄道研究部諸君の応援を頂きました。）



◎紫紺会通信記事について

ご意見・ご要望等がございましたら、同封のアンケートハガキにご記入頂き、返送をお願い致します。

◎同窓会オリジナル制作グッズの販売

大好評のグッズです。先着順にて完売の節はお許し下さい。

（次頁をご覧ください）



正則学園同窓会制作／オリジナルポロシャツ 申込書



(サイズ:M・L・LL 材質:綿65%ポリエステル35% 白色 前ポケット無し)

販売価格¥3,000. (税込) (送料別途・¥700)



正則学園同窓会制作／CD 申込書



録音時間 35分

(校歌・応援歌・甲子園出場高校野球実況放送・その他含む)

販売価格¥1,000. (税込) (送料別途・¥700)



代金支払先 : ゆうちょ銀行 00160-1-623383
口座名義人 : 正則学園高等学校同窓会

問い合わせ先 : 同窓会事務局 担当:大内 ☎ 090-8080-7973

【編集後記】

今版の『紫紺会通信』編集分より担当者が常任幹事の 梅田 信昭 氏（平成6年卒業）へバトンタッチをし、編集担当を退任いたしました。

若い担当者となり、斬新な視野での編集にご期待ください。

永い間 教職員の先生はじめ、先輩の皆様・後輩の皆様・そして在校生の生徒の皆様 御多忙の所、原稿依頼に対して寄稿を頂きありがとうございました。

紫紺会通信 第1号発刊より、同窓会会員の皆様に同窓会活動状況・学校の活動内容・同窓会会員の活動状況等をご連絡できないものかと活動を開始し、第7号迄発行する事が出来ました。これも会員の皆様や学校の先生方のご協力が有ったからこそ達成する事が出来ました。心より感謝致しております。

多くの大先輩の皆様や最近卒業された会員の皆様が、現在学校の活動状況を知り、活動内容の変化に驚かれています事と思います。

又 毎回 賛助金支援を お願いしました所、多くの皆様より多額のご支援を頂き誠にありがとうございました。 同窓会活動資金として在校生の支援にも運用させて頂いております。

『紫紺会通信』も今後 『紙の印刷』と『インターネット等による 電子媒体』等の両面による方法で展開していくよう検討中です。

若い担当者にバトンタッチをし、今後は後方支援に回ります。 本当に永い間ご支援ご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

同窓会『紫紺会通信』・前編集担当

池田 栄策（昭和34年卒）

「紫紺会通信」第7号から前任者池田栄策顧問より、引き継ぎさせていただきました梅田信昭と申します。

このような重大な役割を引き継ぎ、新編集担当になったらつまらなくなると言われなかったと思いますが、通信の作成することには今まで関わったことが無く、右も左も分からなくて「紫紺会通信」作成に携わってくれた方々にはご迷惑をかけてしまいました。無事に発行に結びつける事ができて大変勉強になりました。これから皆様にHOTな情報を届けていけますように頑張りますので、ご支援ご協力よろしくお願い致します。

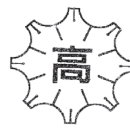
同窓会『紫紺会通信』・編集担当

梅田 信昭（平成6年卒）



正則学園高等学校同窓会の公式Instagram
が立ち上がりましたので、ぜひフォローお
願いいたします。

今後、いろいろ活動状況を更新していきま
すので、よろしくお願いいたします。



発行 正則学園高等学校同窓会
<https://www.seisokugakuen.ac.jp>